

インテリアからエクステリアのドレスアップ
走りの機能を強化するパーツまで

NV350 CARAVANを遊び尽くせ!

UPGRADE PARTS CATALOG 2017



LINE UP

■ パーツ選びの基礎知識

「インテリアパーツ編」	p.134
「ホイール編」	p.154
「ローダウン編」	p.168
「ダンパー編」	p.170

■ カタログセレクション

室内快適化パーツ「インテリア」	p.136
ドレスアップパーツ「ホイール」	p.157
ドレスアップパーツ「エクステリア」	p.164
足まわり強化パーツ「サスペンション」	p.172

■ 注目パーツピックアップ

ルナインターナショナル	p.142
クラフトプラス	p.144
トランポプロ	p.146
UIビークル	p.148
ニース札幌	p.149
ワンボックスネットワーク	p.150
カーライフオート	p.152
ボクシー	p.156
ギブソン	p.160
レイズ	p.162
ドルフィンプラス	p.166
アイズ	p.176
威風	p.177
オグショー-827	p.177



PARTS PICK UP

DOLPHIN PLUS

1ボックス車専用エアロ&パーツブランドがデビュー！

日産車のカスタマイズに定評のあるフリーウェイが、NV350キャラバン用パーツのブランド「DOLPHIN + (ドルフィン プラス)」を設立。エアロパーツのエクステリアから足まわり、排気系に至るまで、走りを楽しむパーツに注目だ。

フリーウェイ 埼玉県春日部市梅田1-5-20 ☎048-755-2205 www.freeway-dolphin.co.jp

文=湯目由明 写真=佐藤正巳



走りのよさを予感させる洗練されたエアロパーツ

●スロープや段差で気を遣うサイドステップやリヤバンパーを設けず、バックドア上部を獲うウイングでリヤビューに存在感を与える



■価格

フロントスポイラー	3万5000円
コーナパネル	1万6000円
フロントグリル タイプ1 (菱形メッシュタイプ)	3万2000円
フロントグリル タイプ2 (パンチングタイプ)	3万5000円
リヤウイング	3万8000円



●純正バンパーのボトム部分にかぶせてボリュームアップを図り、腰高感を解消するフロントスポイラー。純正バンパーとの透き間を埋めてフィット性を高めるゴムモールも付属。大開口のフロントグリルは菱形メッシュとパンチングの2種類のインナーをラインナップ



●デモカー装着ホイールはMAD CROSSのXD-7C。サイズは17×6.5 / インセット48。カラーはブラック・フルポリッシュ。タイヤはトーヨーのH20。サイズは215/60R17

「デュオ」と「クワッド」、どちらを選ぶ!?

ドルフィンの母体はプロショップのフリーウェイ。ステージア260RSのフルチューン(ゼロヨン10秒3)などで培ったノウハウを生かし、サウンドやルック

ス、排気性能を追求したマフラーを開発。標準ボディの2WD・2本出しの「デュオ」をリリース。



オールステンレスマフラー
Type DUO

価格: 9万5000円



オールステンレスマフラー
Type QUAD

価格: 11万8000円



●リヤビューにインパクトを与える4本出し、オーソドックスな2本出しを手軽に付け替えイメージチェンジを図るオールステンレスマフラー専用のエンドチップ。Type DUOは3万8000円、Type QUADは3万8000円。カスタムの幅を広げるユニークなアイテムだ。

●純正マフラーと同じ片側出しで、テールエンドをデュアルにして存在感を高めたいオールステンレスマフラー(6万8000円)もラインナップ。標準ボディの2WD・2本出し専用。

上質なインテリアを実現する各種パーツ

●下取りした純正のウレタン製ステアリングを上質なレザーで張り替える本革ステアリング。シフトノブも同じ素材で張り替え質感アップ。グリッ



本革ステアリング 価格: 3万8000円

本革シフトノブ 価格: 2万3000円

●フロアマップランプとセンターランプ、ラゲッジランプの室内灯すべてを白熱球と入れ替えるLEDルームランプセット(1万3000円)。白熱球に比べて消費電力を抑えられ、発熱量も少ないのでレンズの焼けを防げる



●バンPGX専用のフロアマット(1万9000円)。フロントとリヤ用がセットになったリーズナブルな価格で、カーペットはプレミアムGXの内装に合わせてグレーのみの設定。機能性にもこだわり、運転席部分にヒールパッドを設けた

純正バンパーとの一体感を持たせながら腰高感を解消するスポイラーと大開口グリルで個性を強めたフロントフェイスは、ドルフィン伝統のスポーティなデザイン。キャラバンのユーザーは建設現場で働く「職人」が多いため、段差やスロープで気を遣うサイドステップは設定せず、ルーフとのつながりを意識したウイングでリヤビューを引き締める。

写真はプレミアムGXの2本出しで、リムコーポレーションの足まわりやATSのLSDを組んでハンドリング性能を追求。今後はエンジン換装やバンパー一体型マフラーの製品化も構想中。見た目だけのドレスアップとは一線を画す「ドルフィン流」のキャラバンカスタムを提案する。

商用バンがRVブームを追い風にステータス性を備えた「ステーションワゴン」として市民権を得たのが1990年代半ば。とりわけ若者に人気だったのが、ハイパワーなエンジンに引き締められたサスを組み合わせたスポーツワゴンだ。

カスタマイズも盛り上がり、多くのエアロブランドが参入。なかでも大開口のエアダクトやダウンフォースを高める特大のリヤスポイラーなど、機能を追求したフォルムでチューニング志向のユーザーから支持されるのがフリーウェイの「ドルフィン」だ。

アベニールやウイングロードなど日産車を得意とし、初代ステージアのエアロは「カスタマイズ推奨キット」として全国の日産ディーラーで販売されるなど、品質の高さは自動車メーカーのお墨付き。

そして今回、日産車への強いこだわりやワゴンに特化したパーツブランドとして培ったノウハウを生かして、キャラバン専門ブランドの「ドルフィンプラス」を立ち上げた。

日産車のカスタムはお手のもの!